

心理学研究法概論

科目ナンバリング PSY-102
必修 2単位

近藤 清美

1. 授業の概要(ねらい)

心という目に見えないものをどのように研究することができるのか、本講義ではその概略を示す。
心理学の研究方法は多様であり、研究内容や対象によって方法には大きな違いがある。しかも、人が人を研究することでのいくつかの困難が生じる。本講義では、心理学的研究法を「実験的研究」と「観察的研究」に分けて論じ、研究上の倫理的問題や研究の実施について具体的なイメージが持てるように解説する。
各分野の研究方法の実際や様々な心理学的研究法については、2年次の心理学研究法Ⅰ～Ⅳにおいて学ぶため、本講義はその基礎をなすものである。

2. 授業の到達目標

- ①心理学的研究における倫理的配慮や研究倫理について説明できる。
- ②心理学におけるいくつかの研究方法について解説できる。
- ③心理学的研究の具体的な流れと留意点について理解する。
- ④心理学的な研究をしたいという意欲を持ち、2年次以降の演習に備える。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の試験(持ち込み不可)60%,授業中に随時行う課題による評価 40%

4. 教科書・参考文献

教科書

高野陽太郎・岡隆(編)『心理学研究法:心を見つめる科学のまなざし 補訂版』(2017) 有斐閣

参考文献

三浦麻子(監修・著)『なるほど!心理学研究法』(2017) 北大路書房

ニール・J・サルキン(著)畑中美穂(訳)『いまさら聞けない疑問に答える 心理学研究法のキホン』 新曜社

5. 準備学修の内容

教科書を読んであらかじめ予習しておいてください。教科書を読んでいることを前提に授業を進めます。また、複数回の課題を出しますので、自分で調べて仕上げてください。さらに、心理学に関する研究論文を調べて読み込み、生の心理学的研究に触れてください。

6. その他履修上の注意事項

- ・期末テストは客観的テストです。配布資料とノートをきちんと復習し、基礎的な専門用語や事項を覚えてください。
- ・最終レポートは研究計画書を作成することです。これを提出しない場合、最終試験に出席して良い成績を修めても単位を出すことができません。
- ・課題レポートが複数回ありますが、遅れても受け取りますので、最終試験までにはすべてを提出してください。
- ・配布資料や課題の提出には、帝京大学のLMSまたはWeb File Serverを利用します。
- ・授業中の私語や迷惑行為に対してはペナルティを科すので注意してください。
- ・心理学研究を実際に体験するために調査や実験に参加する機会を設けます。実際に研究に協力するかどうかは自由意思に委ねられ、研究参加の匿名性は保証されます。ただし、参加することでの学修上の特典があります。

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。

2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 科学とは、科学的とは(1章)
- 【第2回】 リサーチクエストの見つけ方
- 【第3回】 文献検索と科学論文
- 【第4回】 実験的研究と観察的研究
- 【第5回】 様々な研究法:実験と調査法(7章,10章)
- 【第6回】 様々な研究法:検査と観察法,面接法(11章,12章,13章)
- 【第7回】 人を研究することに伴う問題(9章)
- 【第8回】 研究者の態度と研究者倫理(9章)
- 【第9回】 心理学的研究と統計の力(16章)
- 【第10回】 実験的研究(1):独立変数と従属変数(4章,5章)
- 【第11回】 実験的研究(2):剰余変数の統制(6章)
- 【第12回】 質的研究法,臨床的研究(13章)
- 【第13回】 研究の立案と研究の実施
- 【第14回】 研究結果の解釈(15章)
- 【第15回】 まとめと試験